

平和への夢

2012. 12.21 (金) 19時開演(18時30分開場)京都市立芸術大学大学会館ホール [入場無料]

主催・企画:clumusica 京都市立芸術大学音楽学部中村研究室 075-334-2363

みなさまからのご寄付は、京都市立芸術大学美術学部教員と学生が取り組む宮城県牡鹿郡女川町での活動をバックアップしている一般社団法人対話工房の女川コミュニティカフェプロジェクト[設立メンバーの一員が京都市立芸術大学美術学部小山田徹准教授]に全額寄付いたします。

平和への夢

いのり

作曲:中村典子 衣装・染織:日下部雅生

日下部祐子[歌唱]

雛菊

Bat-chen 能 詞章:中村典子

1993年3月のプリムの祭りの日 15歳の誕生日に自爆テロに巻き込まれて亡くなったイスラエルの少女バットヘン(雛菊の意味)・シャハクさんへの祈り。

プリムの祭りは旧約エステル記の物語でユダヤ人が奇跡的に救われたことを記念する祭り。ユダヤ暦アダル月14日15日に行われる。

翠

Green 能 詞章:中村典子

2011年1月8日にアメリカ・アリゾナで民主党ガブリエル・ギフォーズ下院議員の対話集会に参加して銃の乱射に巻き込まれて亡くなった9歳のクリスティーナ・グリーンさんへの祈り。グリーンさんは911の日に生まれた。

実はアメリカで能と打楽器作品として準備中の「雛菊」の上演がキャンセルされた直後、アメリカでこの悲劇が起こったため、雛菊、翠共に今回詞章のみ一部公開。

神信ず 六段

グレゴリオ聖歌より

村辺恵奈[歌唱] 麻植美弥子[箏]

道のり

Le Trajet 作曲:岡本伸介 美術:SHITO HIROMI

中川日出鷹[ファゴット] 市川未来[ピアノ]

セの橋

作詞:ルイ・アラゴン 作曲:プーランク

日下部祐子[ソプラノ] 山下諒[ピアノ]

いのり

ソプラノ:日下部祐子 ピアノ:山下諒

箱根八里は 作詞:作曲:山田耕筰

箱根八里は馬でも越すが、越すに越されぬ大井川。

ダニーボーイ アイルランド民謡 作詞:フレッド・E・ウェザリー

魂の帰る故郷。

籠の中の小さなカナリヤ 作曲:ルイ・ベッツ

人生の過酷な理を歌う。

母の教え給いし歌 作曲:ドボルザーク

人類の根源的な祈りのかたち。

ここは美しい 作曲:ラフマニノフ

東日本の人々に捧げる。

春の流れ 作曲:ラフマニノフ

自然の祈り。

あけしだ [世界初演] 作曲:中村典子 衣装・染織:日下部雅生

日下部祐子[歌唱] 明日という意味の奈良時代の東国方言。

愛ゆえに マタイ受難曲より 作曲:バッハ

日下部祐子[ソプラノ] 大嶋義実[フルート] 市川未来[チェンバロ]

舞台:京都市立芸術大学音楽学部中村研究室

日下部祐子(ソプラノ) 華頂女子高校音楽科を経て京都市立芸術大学音楽学部卒業。同大学院修士及び博士(後期)課程修了と共に博士号。友愛ドイツリートコンクール第1位、飯塚新人音楽コンクール第3位。文部大臣奨励賞・関西日仏学館賞他受賞。オペラでは《魔笛》(パミーナ、パパゲーナ)、《フィガロの結婚》(スザンナ、伯爵夫人)、《ドン・ジョバンニ》(ツェルリーナ、ドンナ・アンナ)、《ゴジ・ファン・トゥッテ》(デスピーナ)等モーツァルトの主なレパートリーの他、《ポッペアの戴冠》(ドゥルシッラ)などバロックオペラ、《リゴレット》(ジルダ)、《椿姫》(タイトルロール)、《愛の妙薬》(アディーナ)、《ジャンニ・スキッキ》(ラウレッタ)、《スザンナの秘密》(タイトルロール)他のイタリアオペラ、《子供と呪文》(火の精)、《シンデレラ》(妖精の女王)、《テレジアスの乳房》(タイトルロール)等フランスオペラ、《源氏物語》(紫の上、葵上)、《白狐の湯》(角太郎)、《岩長姫》(此花咲耶姫)、《火の鳥》(タイトルロール)他現代邦人作品やロンバーク《学生王子》(ケティー)まで、幅広いレパートリーを歌って高い評価を得ている。また宗教曲やオーケストラ・合唱作品、室内楽の分野でも関西を中心に全国、ヨーロッパ各地でリストとして活躍。メシアンやジョン・ケージなど現代作曲家の作品も多数演奏するほか、実験的・前衛的な作品や新作の初演にも精力的に取り組んでいる。録音ではファーストアルバム日本歌曲集《初恋》、ドイツリート集《放浪う魂の憩う所》、イタリア語の詩に魅せられた作曲家たちのシリーズによる《Amori》の3枚のソロアルバムの他、ライブワークとしている現代作曲家作品のCD録音にも多数参加している。華頂女子高校音楽科芸術顧問、京都市立芸術大学非常勤講師、関西歌劇団理事。

小山田徹(美術) 1961年鹿児島に生まれる。1985年京都市立芸術大学日本画科卒業。84年、大学在学中に友人たちとパフォーマンスグループ「ダムタイプ」を結成。ダムタイプの活動と平行して90年から、さまざまな共有空間の開発を始め、コミュニティセンター「アートスケープ」「ウィークエンドカフェ」などの企画をおこなうほか、コミュニティカフェである「Bazaar Cafe」の立ち上げに参加。日本洞窟学会会員。2005年第二回アサヒビール芸術大賞。2006年「抽象再訪」展、京都芸術センター(京都)で劇団チェルフィッチュの舞台美術を製作。Com-pass Caving Unit というグループで洞窟探検をはじめ。2007年「銀月アパートメント12号室」京都左京区にある古い洋館アパートの一室をゲストルームに改装 宿泊を通じてのコミュニティへの入口の創造を試みる。アサヒビール大山崎山荘美術館(京都)にて「おちゃかい?」というレクチャー企画を開始 年4回開催。国際芸術センター青森(ACAC)春のレジデントプログラムで青森に三ヶ月滞在。実測図のフィールドワークをし、「遊びの経路」というグループ展に出品。福井県敦賀に陶芸家の「喜多村の小屋」を施工。wi-can(千葉市)で散歩のプロジェクトを行なう。2008年「HAT神戸+防災EXPO」(兵庫)で会場デザインを行なう。「シェルターフェスティバル」に脚立シェルターを出品。UDCK(千葉)でカメラオブスキュラのワークショップ。UDCK(千葉)で「小さな公共空間」の企画でアーティスト・イン・レジデントで一ヶ月滞在「実測図」のプロジェクトを行なう。「The Act of Looking 実測図の展覧会」ヴォイスギャラリー(京都)。京都新聞月曜夕刊に「銀縁メガネの風景探訪」の連載を始める。喫茶「hiyori」施工(京都)。UDCK(千葉)「柏の葉総天然色」デレクション。空間実験室(青森)で屋台のプロジェクトを行なう。「街が劇場準備中」(新世界/大阪)にて「きき耳」プロジェクトを行なう。「ちっちゃい火を囲む」プロジェクト(大阪大学/大阪)。2009年「減災のプリコラージュ」(應典院/大阪)。「ケイバーズカフェ」(應典院/大阪)。「仙台 浮遊博物館」。

日下部雅生(染織) 1964年京都市生まれ。1988年京都市立芸術大学美術学部工芸科卒業。1990年同大学院修了後渡米。1993年帰国。1994年沖縄県立芸術大学に赴任。1996年 第18回 日本新工芸展 - 読売新聞大阪本社賞。1998年第13回 国民文化祭 - 国民文化祭実行委員会会長(平山郁夫)賞。2000年京都市立銅駝美術工芸高等学校からの招聘を機に帰京。2000年第22回 日本新工芸展 読売テレビ賞。2003年第25回 日本新工芸展 読売新聞大阪本社賞。2005年第27回 日本新工芸展 帖佐美行記念賞。2006年第28回 日本新工芸展 京都市長賞。2007年京都市立芸術大学に赴任。2007年第29回 日本新工芸展 日本新工芸会員賞。2009年第31回 日本新工芸展 日本新工芸会員賞。2010年第56回 全関西美術展 全関西美術展賞。2012年第44回 日展 特選。日展会友。日本新工芸家連盟正会員。京都工芸美術作家協会会員。日本美術教育学会会員。現在、京都市立芸術大学美術学部准教授。

山下諒(ピアノ) 1991年生まれ。5歳よりピアノを始める。京都府出身、京都市立音楽高等学校(現京都市立京都堀川音楽高等学校)卒業。2003年 PTNA D級、カワイ賞受賞。2006年 第5回 宝塚ベガ学生音楽コンクール高校生部門第1位。2007年 第8回 大阪国際音楽コンクール高校生部門、エスポール賞受賞。第61回 全日本学生音楽コンクール大阪大会入選。第62回 同コンクール大阪大会第2位、全国大会入選。京都市教育委員会より学業につき表彰状授与。2008年 第22回 京都芸術祭、奨励賞受賞。2009年 第62回 全日本学生音楽コンクール入賞者披露演奏会出演。第9回 ノーヴィ国際音楽コンクール一般部門、奨励賞受賞。2010年 第11回 ショパン国際ピアノコンクールin ASIAアジア大会、銀賞受賞(最高位)。第8回 堺国際ピアノコンクール一般部門第6位。第2回 徳島音楽コンクール大学・一般部門、金賞受賞。ならびに入賞記念ガラコンサートにてグランプリを受賞。2011年 第23回 宝塚ベガ音楽コンクール第6位。第5回 横浜国際音楽コンクール大学の部、ロシア音楽賞受賞。第6回 同コンクール第3位。2012年 第5回 神戸芸術センター記念ピアノコンクール、銀賞受賞。ならびに感動賞受賞。日本芸術センターの招聘ピアニストとして選出される。2013年には神戸芸術センター定期演奏会、芸術劇場にてノリサイタルを開催予定。第27回 国民文化祭・とくしま2012プレフェスティバルにおいて、秋山和慶指揮、とくしま国民文化祭記念管弦楽団とチャイコフスキー/ピアノ協奏曲第1番より第1楽章を共演。これまでにピアノを辻田 裕子、松井 和代、岡原 慎也、坂井 千春、イーナ・メジャーエワの各氏に師事。ピアノデュオを山口 博明、服部 久美子、チェンバロを中野 振一郎、春山 操の各氏に師事。また、公開レッスンやマスタークラスなどにおいて、渡辺 健二、松田 康子、アンドリュウ・ボールの各氏の指導を受ける。イェルジ・スリコフスキのレッスンを受講。大学在学中、定期演奏会、ピアノフェスティバル、学内リサイタルに出演。現在、京都市立芸術大学音楽学部ピアノ専攻4回生。

村辺恵奈(ソプラノ) 京都市立芸術大学音楽学部卒業。幼少期に合唱と出会ってから、歌の勉強を始めるようになり、最近までは子供ミュージカルの指導にあたっていた。声を使うことの素晴らしさを知り、演奏会の司会を勤めるなど、フリーランスに活動中。早いパッセージを歌うコロラトゥラの唱法を得意とする。これまでに片岡京子、田附和子、小室彰子の各氏に師事。

麻植美弥子(箏)京都市出身、滋賀県草津市在住。NHK邦楽オーディション合格。長谷検校記念第2回全国邦楽コンクール箏部門第1位優秀賞、平成10年平和堂財団芸術奨励賞(音楽部門)、第22回京都芸術祭音楽部門京都市長賞他、受賞歴多数。2004年NHK交響楽団フルート奏者菅原潤氏とCD『Flute・Piccolo 箏・十七絃箏 Collaboration』をリリース。国内外のアーティストとのセッションなど、ジャンルを超え多彩な演奏活動をイタリア・フランス・シンガポール・韓国をはじめ国際的に展開。中島貞夫監督監修DVDや舞台「六条御息所幻想」「横笛」に音楽で参加。ムジカA国際音楽協会会員。

岡本伸介(作曲)京都市立芸術大学音楽科作曲専攻卒業。来年同大学院音楽学専攻入学予定。これまでに作曲を青木省三、藤井園子、前田守一、葛西聖憲、中村典子、各氏に師事。第12回TIAA全日本作曲家コンクール入選。

SHUTO HIROMI(美術)京都市立芸術大学デザイン科プロダクトデザイン専攻在籍。2010年より国内外問わず作品を発表。主な展示活動は「常設展示(スイス:2011)」「グループ展(ドイツ:2011)」「アートフェアinマイアミ(アメリカ:2011)」「個展 SHUTO HIROMI展(大阪、岡山:2012)」「シャルロッテンブルグ宮殿展示(ドイツ:2012)」。

中川日出鷹(ファゴット)京都市立芸術大学卒業、在学中ニース国際音楽祭にて抜擢され独奏をする。09、10年スイス、ルツェルン音楽祭にて現代音楽の演奏でピエール・ブーレーズ氏、ペーター・エトヴォス氏と共演。パリ国立地方音楽院にて最高過程を修了。国家音楽高等音楽研究資格を取得。これまでに山本一宏、中野陽一朗、ローラン・ルフェブル、パスカル・ガロワの各氏に師事。

市川未来(ピアノ)大阪府立夕陽丘高等学校音楽科を経て、京都市立芸術大学卒業。第10回日本演奏家コンクール伴奏者賞。TIAA伴奏ピアニストオーディション合格、第13回KOSMA管楽器コンクール伴奏賞。2010年大学学外コンサート「ピアノフェスティバル」出演、京都ピアノコンクール2010にて金賞及び京都新聞社賞受賞。第16回高槻音楽コンクールにて奨励賞。これまでに井上聡美、稲田節子、坂井千春、笠原純子の各氏に師事。

大嶋義実(フルート)プラハ放送交響楽団首席フルート奏者、群馬交響楽団第一フルート奏者を経て、現在京都市立芸術大学教授。1981年京都市立芸術大学卒業後、1984年ウィーン国立音楽大学を最優秀を得て卒業。日本音楽コンクール、マリア・カナルス国際コンクール、日本管打楽器コンクール他、内外の著名コンクールに入賞入選。平成10年度京都市芸術新人賞受賞。ソリストとして国内はもとよりロンドン、ウィーン、プラハ、フィレンツェ、ローマ等、毎年公演を行うほか、プラハ交響楽団、ヤナーチェクフィルハーモニー管弦楽団、ヴィルトゥオージ・ディ・プラハ、ピルゼン放送交響楽団、ポーランド・オポレフィルハーモニー、群馬交響楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団等、数多くのオーケストラと協演。1994年、95年にはスロヴァキア室内合奏団のソリストとして東京芸術劇場、紀尾井ホール、大阪ザ・シンフォニーホールをメインに日本ツアー同行。95年同プログラムでスロヴァキア各地の国際音楽祭に出演。1997年スーク室内オーケストラのソリストとして日本ツアーに同行、ヨゼフ・スークと共演。1998年には日本人フルーティストとして初めて『プラハの春国際音楽祭』より招待を受け好評を博す。1999,2000,2004年FOK(プラハ交響楽団)定期演奏会(室内楽シリーズ)出演、2000年もベルギー、ドイツ、チェコ、イタリア、ポーランドと五カ国10都市以上にわたる公演を行う。2001年チェコフィル定期演奏会(室内楽シリーズ)、第36回「モラヴィアの秋国際音楽祭」に出演。室内楽の分野でも師のW.シュルツをはじめ、ウィーンフィルやチェコフィル、ベルリン・ドイツオペラの首席奏者達、プラジャーク弦楽四重奏団、コチアン弦楽四重奏団、クーベリック・トリオ等と共演を重ね、その演奏はNHK「芸術劇場」をはじめ各国のテレビ、ラジオで度々放送されている。ドイツ・コブレンツ国際音楽週間、草津国際フェスティバル&アカデミー、イタリア・サルッツォ音楽院、アオスタ音楽院、ローマ国際アカデミー、プラハ・サマーアカデミー、アメリカ・セント・メリー・カレッジで等のマスタークラス受け持つほか、相愛大学でも後進の指導にあたっている。ミラノ・ファラウトコンクール、びわこ国際フルートコンクール、全日本学生音楽コンクール、全日本吹奏楽コンクールをはじめ各地のコンクールの審査員も務める。11枚のCDをリリース。日本フルート協会理事、アジア・フルート連盟常任理事。

中村典子(作曲)京都市立芸術大学音楽学部作曲専修卒業。音楽学部賞受賞。同大学院音楽研究科作曲専攻修了。大学院賞受賞。在学中プレーメン芸術大学へセメスター派遣留学。故廣瀬量平、北爪道夫、藤島昌壽、前田守一、田島亘、故H.J.カウフマン、G.アミ等の各氏に師事。日本、韓国、中国、台湾、ドイツ、フランス、イタリア、スイス、オーストリア、スペイン、ノルウェー、スウェーデン、イスラエル、アメリカ、メキシコの15カ国で作品上演。7回の個展。テーマ音楽制作オーディオドラマ音楽担当(NHK)。1991年ハイデルベルク大学音楽学研究所で「日本の女性作曲家」講演。1995年国連憲章50周年記念UNited We Danceでサンフランシスコオペラハウス連続公演。舞踊家李周護熙と日韓両国で舞踊作品を継続上演。1997年第1回小倉理三郎音楽奨学金受給者。2001年京都市芸術新人賞。Artist in Residence in die Hoeye(Syke)国際女性作曲家会議(ドイツ)。2008年より京都芸術センター運営委員。平成22年度滋賀県文化奨励賞。Asian Composers League Conference & Music Festival(韓国,2009)(台湾,2010)(イスラエル,2012)入選。日本現代音楽協会、(社)日本作曲家協議会、東洋音楽学会、国際伝統音楽学会所属。clumusica共同主宰。コチの会・東風同人。現在、京都市立芸術大学音楽学部准教授。